

# 原発推進の九電から新電力へ 電気の契約をあなたも切り替えませんか

～原発電気不買運動の呼びかけ～

手続き簡単！



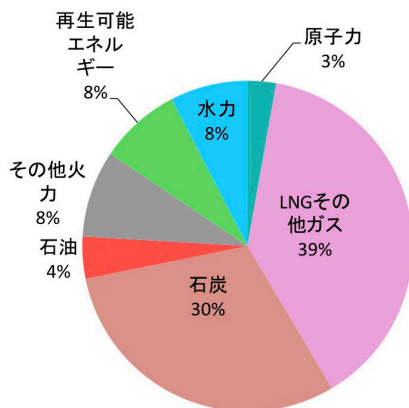
電気代も安くなるよ！

経済産業省は、今年の3月末で新電力へ契約を切り替えた家庭は約622万戸、全体の10%を超えたと発表しています。節電、省エネの努力、再生可能エネルギーの普及等で、日本では原発を全部止めても電気は十分に足りります。福島原発事故を教訓にドイツでは2022年に、台湾も2025年に脱原発をします。世界は原発を廃止し、火力を減らして再生可能エネルギーへの大転換を進めています。しかし、日本では、老朽化した原発を建設から60年になるまで動かそうとしています。

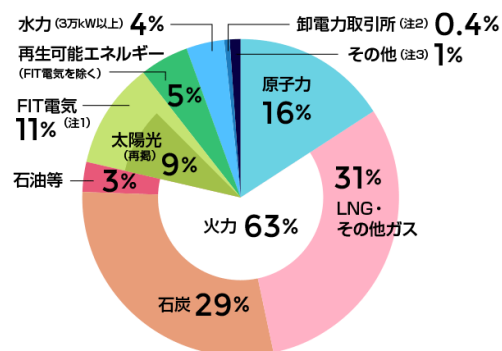
全国

2017年度の電源構成

九電管内



資源エネルギー庁平成29年度電力需給速報



九電サイト「当社の電源構成(平成29年度実績)」から

**重大事故を防ぎ、原発ゴミ(放射性廃棄物)をこれ以上増やさないためには、一刻も早く原発を止めることが必要です。**

福島原発事故から7年経った今も、5万人もの人々が避難生活を強いられています。また、子どもたちの甲状腺がんは200人を超えています。放射能に汚染された土や草木を入れたフレコンバックは山積みされ、放射能に汚染された土地は残ったまま、たくさんの人たちの「かけがえのない日々の暮らし」が失われてしまいました。汚染水は増え続け、廃炉のめどは立ちそうにありません。

多くの佐賀県民、そして全国のみなさんの再稼働反対にもかかわらず、玄海原発3号機は今年の3月23日に、4号機は6月16日に再稼働されました。今、私たちは玄海原発の事故を絶えず心配しながら、不安の中での生活を余儀なくされています。

**四市長の再稼働反対の声は無視されました**

玄海原発30キロ圏内の8市町のうち、4市長が再稼働に反対でした。昨年2月、佐賀県内5か所で

開かれた再稼働についての住民説明会では、反対や疑問の声ばかりで賛成の意見は一つもありませんでした。県内20市町のうち再稼働容認は8首長で半数に達していません。佐賀新聞の世論調査では半数が再稼働に反対でした。しかし、山口祥義佐賀県知事は昨年4月25日県民の抗議の中、再稼働を早々と容認してしまいました。佐賀県民の民意は無視されています。

危険な原発の再稼働に反対する多くの住民の意思が、無視されてよいわけがありません。

**再稼働反対の意思を表すために、新電力に切り替え・原発電気不買運動を呼び掛けます。**

ぜひ、新電力の電気に切り替えることで「原発電気不買・再稼働反対」の意思表示をお願いします。新電力への切り替えは簡単です。そして、この原発電気不買運動を広げると同時に、節電や省エネも続けていきましょう。

・私たちは原発の電気をやめて、新電力(注1)から電気を買うことができます。

・家庭用の電気の売買は、2016年4月から自由化(電力自由化)されていて、電気は今までの電線を使って流れるので、新電力の電気が停電するようなことはありません。

・電力メーターはスマートメーターに切り替わりますが、費用は発生しません。スマートメーターの電磁波については、他の家電製品に比べて特に高いということはないとの測定結果を、グリーンコープは報告しています。(『共生の時代』第395号)。

## 新電力への切り替え

まず、九電からの『電気ご使用量のお知らせ』を見て、左上のほうのご契約種別を見てください。

○ 従量電灯B、従量電灯C、低圧電力契約の場合は、新電力に切り替えると、九電より少し安くなるようです。

電力比較サイト・エネチェンジ (<https://enechange.jp/specials/guidance/>) を検索すると九州管内の新電力31社が紹介されています。他にも、福岡県みやま市の日本初の自治体による電気事業会社「みやまスマートエネルギー」(tel 0944-88-9379) や、「グリーンコープでんき」等もあります。

○ 季時別電灯の契約、夜間の電力プランの場合は、オール電化向けプランのある新電力を選んでください(同プランのない新電力を選ぶと九電より何割も高くなる場合があります)。インターネットで検索する (<https://enechange.jp/articles/liberalization-alldenka>) と、対応する新電力の時間別の単価が表示されています。(この他にもあるかもしれません)ので、あなたの生活スタイルに合った新電力を選んでください。

## 切り替え先の電力会社への申し込み：

○各社のサービス窓口、電話、ホームページ等から切り替えの申し込みをしてください。

○電力小売り全面自由化・資源エネルギー庁・あなたにあった電気を選べる時代へ

[http://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity\\_and\\_gas/electric/electricity\\_liberalization/](http://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/electric/electricity_liberalization/)

を検索すると、全国の新電力の小売り電気事業者の一覧や申し込み手続きの説明等があります。

なお、新電力によっては九電から買った電気の一部を補っているところもあるので、原発電気ゼロにならない場合があります。それでも「原発電気」の割合は大きく減らせます。

(注1)新電力：これまでの九電等(一般電気事業者)とは異なり、2000年の電力自由化に伴って新規参入した事業者(特定規模電気事業者)。

呼びかけ：「さよなら原発！佐賀連絡会」

<https://byenukes-saga.blog.so-net.ne.jp/>

事務局 杉野 090-5740-1441 (2018年10月)

左のアドレスまたは  
右のQRコードでダウンロードできます。

